

KOSEN の窓

有明広域産業技術振興

会は、平成11年に有明高専と行政、産業界メンバーで地域を活性化させることを目的として発足し、地域に貢献してきました。現在4市2町5会議所と、当該地域の35事業所で構成。過去に産学官のさまざまな事業を進めてきました。直近では、有明高専50周年記念の支援を行いました。また振興会副会長の吉

野電子工業株式会社・古賀博文会長との縁で、九州中部地域企業交流会を玉名司ロイヤルホテルにて開催。講師に人工衛星「まいど1号」開発プロジェクト発起人である東大阪市の株式会社アオキシエクト発起人である東山藤・尾崎・立居場・福

変革の波に対応を⑩

有明広域産業技術振興会会長 糸永 一平

取締役会長の青木豊彦氏を招いて、講演いただきました。交流会の部では、福岡県南と熊本県北の企業交流や地元雇用の促進を目的に、参加した各企業の紹介を行いました。振興会の10周年記念事業では、JR大牟田駅に

野電子工業株式会社・古賀博文会長との縁で、九州中部地域企業交流会を玉名司ロイヤルホテルにて開催。講師に人工衛星「まいど1号」開発プロジェクト発起人である東大阪市の株式会社アオキシエクト発起人である東山藤・尾崎・立居場・福

ています。今まで以上に密接に活動展開し、地域にとって唯一の工業高等専門学校として良い刺激と発展の芽を提供し続ける存在として、共に長く活動させていただければと思います。

これからインバウンド、IoT技術、AI技術など、多様な変化が地域を変革させるキーとして訪れます。世界の変革の波に対応し変化することができる地域づくりに、当会と有明高専、行政が、少しでも関わり続けていくことができるか

が、重要なミッションになると考えます。平成28年も残りわずかとなりました。当会としては全力を挙げて挑戦していきたいと思っております。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

(不定期掲載)



JR大牟田駅のロボット大蛇山

有明高専